

第 11 回 物性科学領域横断研究会(領域合同研究会)

2017 年 11 月 17・18 日 (東京大学柏キャンパス物性研究所)

アンケート

1. この会議の開催はどのようにして知りましたか? (記号を○で囲ってください。)
 - a. 日本物理学会の WEB や学会誌で・・・1
 - b. 日本物理学会の各領域 ML の案内で・・・2
 - c. 新学術領域の WEB やメンバー宛のメールで・・・26
 - d. 知り合いの研究者からの情報で・・・20
 - e. その他 (具体的に: 領域関係者及び領域代表から。)・・・3

2. この会議への参加はご自身にとって有意義でしたか。(記号を○で囲ってください。)
 - a. 大変有意義だった・・・27
 - b. まずまず有意義だった・・・24
 - c. どちらともいえない・・・1
 - d. あまり意義がなかった・・・0
 - e. 全く意義がなかった・・・0

コメント:

- ・広い領域をコンパクトに抱握する機会は貴重。
- ・異分野の話を聞いてよかった。
- ・人やテーマによる。
- ・自分の専門でない領域の話も聞いて興味深いです。
- ・普段あまり接する機会のない分野のはなしが聞いて良かった。
- ・他の領域の特に若い研究者との意見交換を通し、研究進展にヒントを与えてあげられたと思う。また、自分自身も大きな刺激を受けた。

3. 講演内容は全体として分かりやすいものでしたか。(記号を○で囲ってください。)
 - a. 大変分かりやすかった・・・10
 - b. まずまずわかりやすかった・・・33
 - c. どちらともいえない・・・8
 - d. ややわかりにくかった・・・1
 - e. 大変わかりにくかった・・・0

コメント:

- ・分野によって差があったが、全般分かりやすかった。(トポロジカルを数学はやはり難しかった。
- ・学部 4 年生にはかなり難しい内容だった。
- ・以前の参画領域がその後どのように発展しているかについての報告もあって欲しい。今の状況は金の切れ目が縁の切れ目になっている (毎回でなくても可)。後継プロジェクトの有無に拘らず、5 年後くらいに overview があると、新学術領域の成果がプラスか。Before and after.
- ・やはり最近、生物との境界領域の進展が著しく、話題についていけないケースもあった。

第 11 回 物性科学領域横断研究会(領域合同研究会)

2017 年 11 月 17・18 日 (東京大学柏キャンパス物性研究所)

4. 会議期間 (2 日) は妥当だと思いますか?

- a. 長すぎる・・・0
- b. ちょうどよい・・・51
- c. 短すぎる・・・1

コメント:

- ・参加領域が多かったのもっと長い方が適切だと感じる。今日のスケジュールだと、1つの領域で話せるトピックが2つだけと少なく感じる。
- ・1日目の開始が少し早すぎる。

5. プログラム、ポスターセッション、その他会議運営全般について、お気づきの点がありましたらご記入ください。

- ・今回は、タイムキーピングが良かった (緊張感のある議論になった)。
- ・平日開催を希望いたします。
- ・ポスター発表で、ずっと自分のポスターにいたが、審査員のような人は特に来なかった点。

6. 物性科学領域横断研究会に期待・希望されることは何ですか?

- ・今後も人材交流の場として機能して行って欲しい。
- ・共通の言語から概念認識を共有して、新たな芽を出していく上で大変重要だと思う出来るだけ、自分のフィールドの言葉で本質を語り、交じり合う機会を多くしていったらいいと思います。
- ・各領域のホットトピックの提供
- ・若い人たちの参加。領域をまたいでの共同研究をすすめるためのパネルディスカッション。

ご協力ありがとうございました。